

食品ロス削減や防災啓発・子ども食堂支援に貢献！ 当社従業員向け災害用備蓄品(食品・飲料水)を寄付しました 約 1,000 人分の飲食料品が子ども食堂や活用団体に届けられました

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：塚田正敏）は、公益社団法人日本非常食推進機構 WeAct（本部：三重県四日市市、理事長：古谷賢治）が取り組んでいる、賞味期限に近づいた備蓄食品等を有効活用する「備蓄品寄贈・活用システム『JEF0 Donation』」へ登録し、約1,000人分の従業員向け災害用備蓄食料8,610食（約861kg）※および飲料水（約4,596ℓ）を寄付いたしました。

寄付した備蓄品は、食品ロス削減による社会貢献を目的に、防災啓発活動、生活困窮者支援、子ども食堂支援などに活用されます。2023年1月12日に、西武バス各営業所において発送作業が行われ、子ども食堂ほか2件の活用団体へと届けられました。

※1食の内容量100g×8,610食で算出

● 寄贈日（発送日）	2023年1月12日		
● 寄贈品・数量	水	4,596ℓ（500mlペットボトル：9,192本）	
	パン	2,760食	（約1,000人分×3日：1日3食）
	アルファ化米	5,850食	
● 寄贈先	公益社団法人 日本非常食推進機構 WeAct		
● 活用先	子ども食堂 ほか2件		
● 活用方法	防災啓発活動、生活困窮者支援、子ども食堂支援		



立川営業所から寄付した備蓄食料品



活用先でのイベントの様子



寄贈先より拝受した感謝状



活用先でのイベントの様子

当社グループを含む西武グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向け「サステナビリティアクション」に取り組んでおります。また、「グループビジョン」では「地域・社会の発展、環境の保全に貢献」することを宣言しています。今回の取り組みもその一環として、より広く社会や地域の皆さまへの貢献に繋がる取り組みとして実施いたしました。

今後も賞味期限到来に近づいた備蓄品の入れ替えに伴い発生する飲食品等について、環境への配慮や社会課題への解決に貢献できる方法を検討し、引き続き取り組みを実行してまいります。

今回の取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



■「西武グループサステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通して創造する社会価値として「4領域と12アジェンダ（重点テーマ）」を設定し、積極的に取り組んでいます。

領域	アジェンダ	貢献するSDGs
安全	安全安心	3 持続可能な健康と福祉を、 9 産業と消費活動の発展をつくらせよ、 11 住み続けられるまちづくりを、 16 平和と公正をすべての人に
環境	温室効果ガス削減	6 安全な水とトイレを世界中に、 7 再生可能エネルギーを拡大して持続可能なエネルギーを、 12 つくる責任、つかう責任、 13 気候変動に具体的な対策を、 14 海の豊かさを守ろう、 15 陸の豊かさも守ろう
	廃棄物削減	
	水資源の確保	
	森林や生物保護	
社会	沿線・周辺自治体活性化	3 持続可能な健康と福祉を、 4 質の高い教育をみんなに、 11 住み続けられるまちづくりを、 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	ユニバーサルデザイン対応	
	少子高齢化	
会社文化	働き方改革	3 持続可能な健康と福祉を、 5 ジェンダー平等を推進しよう、 8 働きがいも経済成長も、 10 人や国の不平等をなくそう、 16 平和と公正をすべての人に
	多様な人材雇用	
	従業員教育・管理	
	コンプライアンス	

■西武グループのサステナビリティに関する取り組みについて

<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>



西武グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。